

アレクサンダー・ツェムリンスキー《6つの歌曲》作品22の楽譜調査 ——演奏と校訂譜作成に向けて——

A Survey of Scores of Alexander Zemlinsky's 6 *Lieder*, Op. 22:
Toward the Preparation of Performance and a Revised Score

齋藤 由香利
SAITO Yukari

キーワード：アレクサンダー・ツェムリンスキー、《6つの歌曲》作品22、〈背中の曲がった小人〉、〈ベアトリーチェの予感〉

0. 序

ウィーン生まれの作曲家アレクサンダー・ツェムリンスキー Alexander Zemlinsky (1871-1942) の作品番号付きの27作品のうち、オペラ《白墨の輪 *Der Kreidekreis*》作品21 (1930-32) までは作曲から1～2年のうちに出版されているが、《6つの歌曲6 *Lieder*》作品22 (1934) 以降は《シンフォニエッタ *Sinfonietta*》作品23 (1934) を除いて、作曲家の死後に出版されている。このことは、作品22の成立の前年にあたる1933年にナチスが政権を獲得したことと無関係ではないであろう。ナチスは《白墨の輪》の上演を1933年に禁じている。ツェムリンスキーはユダヤの血を引き、シェーンベルクをはじめとした前衛派との繋がりも強かったからである。

ナチスの影響を目に見える形で受けた後、最初に作曲された重要な作品であるにもかかわらず、作品22が出版されたのは作曲家の死後30年以上が経った1977年である。現在までに他の出版譜は出されていないため、演奏する際の手近な拠り所はこの出版譜となる。表紙には「6つの歌曲 作品22と作品番号無しの2つの歌曲 Six Songs Op. 22 and Two Songs (without opus number)」と記載され、作品22の6曲と近い時期に書かれた作品番号無しの2曲を加えた、計8曲が収録されている。しかし、この収録の仕方がツェムリンスキーの意図に沿ったものであるかは疑念の余地がある。また出版譜を自筆譜と詳細に見比べると、多くの相違点がある。本研究ノートは、新たな校訂譜作成に向けた基礎研究として、自筆譜と出版譜の情報を提示し、両者の相違点を挙げ、初演に関する情報を確認するものである。作品22を解釈・演奏する一助となることを目的としている。

1. 自筆譜

ツェムリンスキーは1938年のアメリカ亡命時に、6箱分の自筆譜等の資料を運んだ (Beaumont 2007, 57)。現在、それらの「ほぼすべて」(Alexander von Zemlinsky Collection 1992, 4) ¹がアメリカ議会図書館 Library of Congress (以下LCとする) に Alexander von Zemlinsky Collection として収蔵されている。このコレクションに、本研究対象の8曲に関するものとしては5点の自筆譜がある (表1)。本研究は、LCよりカラーのPDFで入手した自筆譜を使用した。

表1 作品22と、それと近い時期に作曲された2つの歌曲の自筆譜（LC所蔵）

各曲のタイトルに丸括弧付きで並記している日付は、断り書きのない限り終止線の右隣に書かれているものである。

①LC 23/4

6. 〈私の魂の海の上をAuf dem Meere meiner Seele〉(34年1月10日から1月21日)
…インク書きの浄書譜

②LC 23/6

高声のためのピアノ伴奏付き6つの歌曲 作品22

2つの夕暮れの歌

1. I. 〈茶色いピロートの靴を履いてAuf braunen Sammetschuhen〉
2. II. 〈太陽の光で満ちた夕暮れの杯Abendkelch voll Sonnenlicht〉
3. 〈臆病な考え、不安な迷いFeiger Gedanken bängliches Schwanken〉
4. 〈妖精の歌Elfenlied〉
5. 〈民謡Volkslied〉
6. 〈背中の曲がった小人Das bucklichte Männlein〉(34年12月)
…インク書きの浄書譜

③LC 23/7

- 〈茶色いピロートの靴を履いて〉(34年1月10日)
〈太陽の光で満ちた夕暮れの杯〉(34年1月12日)
〈民謡〉(最後のページが欠けている)
〈臆病な考え、不安な迷い〉(34年1月18日)
〈妖精の歌〉(34年1月19日)
〈私の魂の海の上を〉(最後のページが欠けている)
…インク書きの注釈が入った鉛筆書きの草稿譜

夕暮れの歌

- I. 〈茶色いピロートの靴を履いて〉(34年1月10日)
〈太陽の光で満ちた夕暮れの杯〉(34年1月11日)
- III. 〈民謡〉(34年1月12日)
- IV. 〈臆病な考え、不安な迷い〉(34年1月18日)
- V. 〈妖精の歌〉(34年1月19日)
- VI. 〈私の魂の海の上を〉(34年1月21日)
〈背中の曲がった小人〉(34年12月15日、当該曲の第1ページの右上に表記)
〈背中の曲がった小人〉(34年12月15日、当該曲の第1ページの右上に表記。また最後2ページ程が欠けている)
…鉛筆書きの注釈が入ったインク書きの草稿譜

④LC 23/8

- 〈ベアトリーチェの予感Ahnung Beatricens〉(35年1月)
…鉛筆書きの注釈が入ったインク書きの浄書譜

⑤LC 23/9

- 〈ベアトリーチェの予感〉
…鉛筆書きの草稿譜

①は五線が両面に書かれた1フォリオからなり、一方の長辺には破られた跡がある。②の表紙も五線（段の数は①と同じ）が両面に書かれた1フォリオからなり、一方の長辺に破られた跡がある。ま

た①にあるクリップの跡は、②の表紙にあるクリップの跡と位置が一致する。更に①の結尾に書かれた日付は、③のIからVIに書かれている日付の期間と一致し、また③の2つの草稿譜は第6曲を〈私の魂の海の上を〉としている。以上のことから、作品22が浄書された当初（②の成立当初）、第6曲として〈私の魂の海の上を〉が書かれたが、その後②から破られて別に保管され（=①）、替わりとして〈背中の曲がった小人〉が②の第6曲に置かれたと考えられる。つまり②は成立当初、両面・左右に印刷のある五線紙を真ん中で折り、折りたたんだ辺を左にして2枚重ね、それを1枚の五線紙で挟んだ形であった（図1）。ツェムリンスキーは、作品22と作曲時期に近い歌曲集《12の歌曲12 Lieder》作品27（1937-38）の浄書譜においても、同様に折りたたみ重ねた3枚の五線紙を、表紙を書いた1枚の五線紙で挟んでいる。

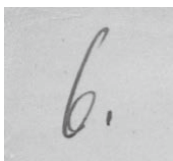
図1 作品22の浄書譜（②）の成立当初と現在の収録状況

「[]」は、1枚の紙であることを表す（「成立当初の浄書譜②」ではfol. 1とfol. 6、fol. 2とfol. 3、fol. 4とfol. 5がそれぞれ1枚の紙）。

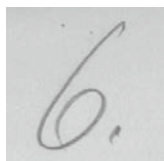
成立当初の浄書譜②	現在の浄書譜②	
fol. 1 ^r — 表紙	fol. 1 ^r — 表紙	
fol. 1 ^v — 書き込み無し	fol. 1 ^v — 書き込み無し	
fol. 2 ^r — 第1曲	fol. 2 ^r — 第1曲	
[fol. 2 ^v — 第1曲続き+第2曲	[fol. 2 ^v — 第1曲続き+第2曲	
fol. 3 ^r — 第2曲続き+第3曲	fol. 3 ^r — 第2曲続き+第3曲	
[fol. 3 ^v — 第3曲続き	fol. 3 ^v — 第3曲続き	
fol. 4 ^r > 第4曲	fol. 4 ^r > 第4曲	
[fol. 4 ^v > 第4曲	[fol. 4 ^v > 第4曲	
fol. 5 ^r > 第5曲	fol. 5 ^r > 第5曲	
[fol. 5 ^v > 第5曲	fol. 5 ^v	
fol. 6 ^r > 旧第6曲〈私の魂の海の上で〉	fol. 6 ^r	fol. =folium フォリオ
[fol. 6 ^v > (=①)	[fol. 6 ^v > 新第6曲	r =recto 表
	fol. 7 ^r > 〈背中の曲がった小人〉	v =verso 裏
	fol. 7 ^v	

〈背中の曲がった小人〉に書かれた、曲順を表す数字「6.」の筆跡は〈私の魂の海の上を〉のものと同じである（画像1、2）ことから、終曲の置き換えはツェムリンスキー本人によるものであると考えられる。

画像1 ①に書かれた「6.」

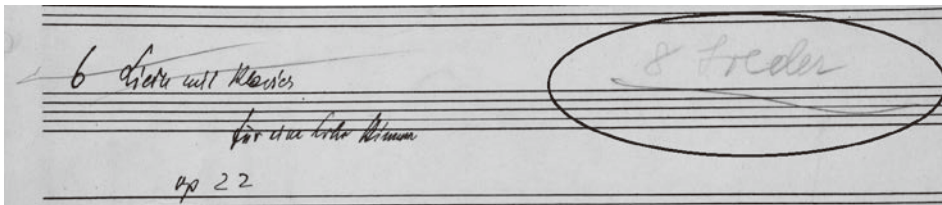


画像2 ②の〈背中の曲がった小人〉に書かれた「6.」

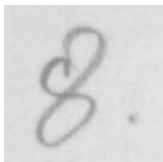


また②の表紙のタイトル「6 Lieder mit Klavier（インク書き）」には鉛筆で2本の斜線が引かれ、その右側には「8 Lieder（鉛筆書き）」と書かれている（画像3）。ゴレルはこの「8 Lieder」が書かれていることを根拠に、「彼〔ツェムリンスキー〕は8曲すべてをまとめて出版することを考えていたようだ」(Gorrell 2002, 214) と述べている。また、出版譜も同じ理由で8曲を収録したと推測される。しかしその筆跡は、「6 Lieder」や作品27の自筆譜に書かれている文字や数字（画像4～6）と比較すると表2の違いがあり、ツェムリンスキーのものではないと考えられる。従って、作品22の6曲に他の2曲を併せて出版することは、作曲家が意図するものではなかった可能性がある。

画像3 作品22の浄書譜 表紙より



画像4 作品27の浄書譜より



画像5 作品27の草稿譜より



画像6 作品27の浄書譜より（「Lieder」の比較対象）

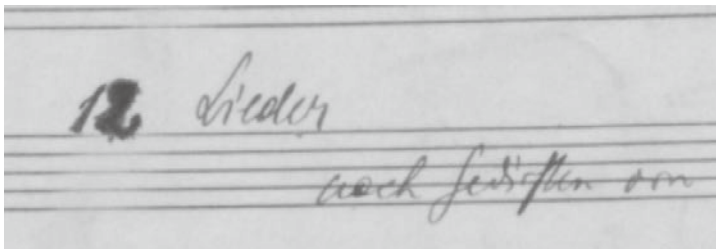


表2 ②の表紙に書かれた「8 Lieder」とツェムリンスキーの筆跡の比較。

文字・数字	「8 Lieder」	ツェムリンスキー
8	右上から始まる	中央上から始まる
L	左上から始まる	右上から始まる
i	点が打たれない	点が打たれる

2. 出版譜

2-1. 出版までの経緯

ツェムリンスキーの再評価が始まった1970年代初頭、彼の妻ルイーゼLuise Zemlinsky (1900-92)は作品22と27の著作権をモバート・ミュージック社Mobart Music Publicationsへ譲渡した。それぞれ1977、78年に出版され、ともに校訂者の記載が無いが、先行研究においてジャック＝レイ・モノJacques-Louis Monod (1927-2020)であることが明かされている (Beaumont 2000, 443n; Beaumont 2007, 74n)。モノは、ソプラノ歌手ベサニー・ビアズリーBethany Beardslee (1927-)と現代作曲家達の作品を数多く共演した、20世紀音楽の専門家として知られている人物である(2人は1951年から数年間、夫婦でもあった)。そしてビアズリーは、ルイーゼに声楽を師事したことがある人物である (Beardslee 2017, 118)。ビアズリーは1973年にツェムリンスキーの作品22と27の中から5曲を、1976年に作品22全曲をリサイタルのプログラムに取り上げているが、出版より前のことであるため、ルイーゼを通して楽譜を入手したと推測される。従って、ルイーゼがビアズリーを通して、当時モバート・ミュージック社の編集長を務め、現代歌曲に精通していたモノに作品22、27の出版を依頼した可能性は多いに考え得る。モノとルイーゼは交流があったという (Beardslee 2017, 120)。

2-2. 出版譜の情報

次に、出版譜から得られる情報を整理する。出版譜に記載されている情報は、表3の通りである。

表3 出版譜に記載されている情報²

出版社：Mobart Music Publications, Hilsdale 出版年：1977年 表紙の表記：ALEXANDER ZEMLINSKY Six Songs[Op. 22] and Two Songs[(without opus number)] For Soprano and Piano German/English MOBART MUSIC PUBLICATIONS [B26215] 内表紙の表記：ALEXANDER ZEMLINSKY Six Songs Op. 22(1934) Chr. Morgenstern – J.W. von Goethe and Two Songs[(without opus number)] Des Knaben Wunderhorn – Werfel(1934) For Soprano and Piano German/English 用紙：縦長版 表紙・背表紙を除いて全32ページ 内容：1ページが内表紙、2ページが英語歌唱用のテキスト、29ページが譜面。作品22の第6曲として〈私の魂の海の上を〉が、「作品番号無し」の2つの歌曲として〈背中の曲がった小人〉と〈ベアトリーチェの予感〉が収録されている。
--

校訂報告は付されていない。自筆譜と詳細に見比べたところ、出版譜は基本的には浄書譜①②④に忠実に従うという姿勢であり、その校訂方針は次のようなものであると推察される。

- ・タイが始まる音符に向かうスラーは、タイの伸びた先の音符まで延ばすよう変更する
- ・ブラケットは、編集者によって付け足された音符や記号に付す
- ・丸括弧は、ドイツ語の楽想記号等に並記するイタリア語訳、自筆譜において鉛筆書きの強弱記号や臨時記号、そして臨時記号付きの音符から延びたタイが段を跨いで続く場合の、後の段落頭の音符の臨時記号に付す

しかし、浄書譜に丸括弧が書かれている箇所、浄書譜に書かれていないものをブラケットや丸括弧

無しに付け加えている箇所、先述の方針以外で丸括弧を使用している箇所も多数指摘できる。一次資料から断りなく変更することは、少なくとも現代の批判校訂版の精神にはそぐわない。本研究ノートでは校訂まで至らないが、浄書譜と出版譜の相違点を表4に示す。演奏に大きく影響するものは、ゴシック体とした。

表4 出版譜と自筆譜の相違点一覧

第1曲〈茶色いビロードの靴を履いて〉

小節/拍	声部	浄書譜②	出版譜
		タイトル「2 Abendlieder/I./Auf braunen Sammettschuhen...」。ページ左上に「1.」、ページ右上に「Alex Zemlinsky」、「2 Abendlieder」の右に「Chr. Morgenstern」。	タイトル「I / Auf braunen Sammettschuhen」。詩人「Chr. Morgenstern」。
10/5	ピアノ上段	h ¹ に鉛筆で「h」。	「h」の記載無し。
12/1	歌	「still (calando)」。	「still-calando」(第11小節5拍目から記載されている)。
12/1-6	ピアノ上段	1拍目から、小節最後の音符を越えるようにスラーが付けられている。しかし第12小節と第13小節の間に改行があり、第13小節にはスラーの続きが書かれていないため、どの音符にまでスラーが付けることが意図されたかは判別がつかない。	スラー無し。
13/5-6	ピアノ上段	第5拍から、小節最後の音符を越えるようにスラーが付けられている。しかし第14小節にはスラーの続きが書かれていないため、どの音符にまでスラーが付けることが意図されたかは判別がつかない。	第5拍から第6拍にスラー。
14/1		歌とピアノ上段の間に「a tempo」。	歌の上、ピアノ上段の上にそれぞれ「a tempo」。
10	歌	何も書かれていない。	ブラケット無しに全休符。

第2曲〈太陽の光で満ちた夕暮れの杯〉

小節/拍	声部	浄書譜②	出版譜
		タイトル「Abendkelch voll Sonnenlicht」、下線。タイトル左に「II.」、ページ左端に「2.」、タイトル右に「Chr. Morgenstern」。	タイトル「II / Abendkelch voll Sonnenlicht」。詩人「Chr. Morgenstern」。
	楽想記号	「Langsam」	「Langsam (Adagio)」
14-15	歌	第14小節終わりから第15小節終わりにかけてクレッシェンド記号。	第15小節1拍目から小節終わりにかけてクレッシェンド記号。
15-16	ピアノ	第15小節1拍目終わりから第16小節1拍目にかけてクレッシェンド記号。	第15小節1拍目から3拍目にかけてクレッシェンド記号。
18-19/1	ピアノ下段	第19小節1拍目の最低音eにかけてタイ。第18小節と第19小節の間でページを跨ぎ、第18小節のeにはタイが付いていないが、インク書きの草稿譜では付いているため、有効である可能性が高い。	タイ無し。
24/3-	歌	「dim.---」第25小節終わりまで。	「dim.---」第26小節2拍目まで。
28	歌	フェルマータ記号無し。	ブラケット無しにフェルマータ記号。

第3曲 〈臆病な考え、不安な迷い〉

小節/拍	声部	浄書譜②	出版譜
		タイトル「Feiger Gedanken bängliches Schwanken」、下線。ページ左端に「3.」、青鉛筆で何重もの下線。タイトル右に「Goethe」。	タイトル「Ⅲ/Feiger Gedanken bängliches Schwanken」。詩人「J. W. von Goethe」。
	楽想記号	「Kraftvoll bewegt」	「Kraftvoll bewegt (Allegretto energico)」
6/1	ピアノ上段 下声部	紙を削って音符を消した跡がある。その上に音符を書いたためかインクが滲み、ges ¹ かfes ¹ か判別しにくい。しかし音符の右隣に、正しい音を示したと思われる黒点がges ¹ の位置に書かれている。インク書きの草稿譜においても、ges ¹ が書かれている。本曲は、アーティキュレーション、リズム、異名同音への変更以外にインク書きの草稿譜と浄書譜の相違はない。従って、ges ¹ である可能性が高い。	fes ¹
15/3	ピアノ上段	フェルマータ記号。	フェルマータ記号無し。

第4曲 〈妖精の歌〉

小節/拍	声部	浄書譜②	出版譜
		タイトル「Elfenlied」。ページ左上に「4.」、タイトル右に「Goethe」。	タイトル「IV/Elfenlied」。詩人「J. W. von Goethe」。
	楽想記号	「Leicht bewegt (♩.)」	「Leicht bewegt (Leggero con moto)」
11/1-3	ピアノ上段 上声部	第11小節1拍目(cis ²)から3拍目(h ²)にスラー。	第11小節2拍目(gis ²)から3拍目(h ²)に、ブラケット付きでスラー。
11/5	ピアノ上段 下声部	a ² にh無し。	a ² から棒線が延び、その先に「[A h]」。
12/4	ピアノ上段	2音目cis ² の下に、「2」(恐らく指使い)。	「2」無し。
13	ピアノ上段	3拍目cis ³ に「1」、4拍目b ³ に「5」、7拍目ges ³ に「5」(恐らく指使い)。	「1」「5」「5」無し。
25/1	歌	「h」無し。	丸括弧付きで「h」。

第5曲 〈民謡〉

小節/拍	声部	浄書譜②	出版譜
		タイトル「Volkslied」。ページ左上に「5.」、タイトル右に「Chr. Morgenstern」。	タイトル「V/Volkslied」。詩人「Chr. Morgenstern」。
	楽想記号	「Andantino ♩. sehr einfach」	「Andantino ♩. sehr einfach (semplice)」
8/1, 9/1, 4	ピアノ上段	符幹の向きは、第8小節1拍目はa ¹ が上向き、d ¹ とf ¹ が下向き、第9小節1、4拍目はa ¹ が上向き、d ¹ とfis ¹ が下向き。	符幹の向きは、第8小節1拍目はa ¹ とf ¹ が上向き、d ¹ が下向き、第9小節1、4拍目はa ¹ とfis ¹ が上向き、d ¹ が下向き。

8/4-9/1, 9/4- 10/1	ピアノ	点線無し。	第8小節4拍目ピアノ下段から第9小節1拍目ピアノ上段の下声部へ、第9小節4拍目ピアノ上段の下声部から第10小節1拍目ピアノ下段へブラケット無しに声部の移動を示す点線。
12/1-2, 14/1-2	歌	スラー無し。	ブラケット無しにスラー。
23/6- 24/1	歌	「innig」	「innig」無し。
33/4- 34/4	歌	点線無し。	第33小節4拍目ピアノ下段から第34小節1拍目ピアノ上段の下声部へ、そこから第34小節4拍目ピアノ下段へブラケット無しに声部の移動を示す点線。
34/1	歌	「pp」	第33小節6拍目に「pp」。
36/4-5, 37/1-2	歌	スラー無し。	ブラケット無しにスラー。
40	歌詞	「Welt」の後に「,」無し。インク書きの草稿譜においても無し。	「Welt」の後に「,」。原詩も「,」有り。
41/1-4	ピアノ下段	スラー無し。	1拍目から4拍目にブラケット無しにスラー。

旧第6曲 〈私の魂の海の上を〉

小節/拍	声部	浄書譜①	出版譜
		タイトル「Auf dem Meere meiner Seele」。ページ左上に「6.」、タイトル右に「Chr. Morgenstern」。	タイトル「VI/Auf dem Meere meiner Seele」。詩人「Chr. Morgenstern」。
	楽想記号	「Sehr bewegt」	「Sehr bewegt(Allegro)」
4/4	ピアノ下段	1音目Hに「2」、2音目dに「1」(恐らく指使い)。	「2」「1」記載無し。
8/1	ピアノ下段	「Pdl」(ペダル記号)	「Pdl」無し。
11	ピアノ	「Viel ruhiger (Moderato)」	「Viel ruhiger-Moderato」
11-13	ピアノ下段	各小節、2拍目1音目の前からスラーが始まる。1拍目のバス音から引き継ぐように、という意図があるのかもしれない。	各小節、2拍目1音目からスラーが始まる。
12	ピアノ上段	1拍目1音目b ² から3拍目1音目fis ² にスラー。	1拍目1音目b ² から2拍目3音目h ¹ にスラー(インク書きの草稿譜においても同じ)。
16-17	歌	「Wieder wie das erste Zeitmass」の後、第17小節を少し越えるまで「---」。	「Wieder wie das erste Zeitmass」の後に「---」無し。
16/2- 17/3	ピアノ	「cresc.---」無し。	ブラケット無しに「cresc.---」。
20/3	ピアノ上段	2音目c ² /a ¹ 。	2音目c ² 。
29/4	ピアノ上段	2音目gis ³ 。	2音目f ³ /gis ³ 。

新第6曲 〈背中の曲がった小人〉

小節/拍	声部	浄書譜②	出版譜
		タイトル「das bucklichte Männlein」。タイトル左に「6.」(鉛筆)、タイトル下に「(A. d. Knaben Wunderhorn)」。	タイトル「1/Das bucklichte Männlein」。詩「Aus des Knaben Wunderhorn」。
2/3-3/1	ピアノ	第2小節の終わりからクレッシェンド記号。	第3小節の1拍目からクレッシェンド記号。
4	ピアノ	「 <i>pp</i> 」に青鉛筆で下線。	下線無し。
6/1	ピアノ下段	青鉛筆でアクセント記号。	
7/1	ピアノ下段	a	h
9/1	ピアノ下段	1、2音目スタッカート無し。	1、2音目にブラケット無しにスタッカート。
9	歌詞	「giessen」の後に「,」無し。	「giessen」の後に「,」。
11	歌詞	「steht」	「Steht」
12	歌詞	「da」の後に「,」無し。	「da」の後に「,」。
12/3	歌		丸括弧付きで英語歌唱用の旋律。
12/2, 3	ピアノ下段	上声部に休符無し。	ブラケット無しに四分休符。
13/2, 3	ピアノ下段	下声部に休符無し。	ブラケット無しに四分休符。
13/3	歌	アクセント記号無し。	丸括弧付きでアクセント記号。
15/2-16	歌	「rit.---」無し。	ブラケット無しに「rit.---」。
17/1	歌	「a tempo」無し。	ブラケット無しに「a tempo」。
21/3, 24/3	ピアノ下段	ペダル解除記号無し。	ブラケット無しにペダル解除記号。
22/3	ピアノ上段	1音目fis ² に「1」、2音目gis ² に「1」(鉛筆、恐らく指使い)。	「1」「1」無し。
25/1-3	ピアノ下段	1拍目1音目gis ¹ にかけてスラー(第24小節と第25小節の間でページを跨ぐ。第24小節3拍目のfis ¹ -g ¹ に付けられたスラーと繋がっている可能性も考えられる)、2音目a ¹ から4音目bにスラー。	1音目gis ¹ から3拍目bにスラー。
26	ピアノ上段	1拍目1音目a ² に「5」、3音目g ² に「4」、2拍目1音目f ² に「5」、3音目d ² に「3」、3拍目1音目as ¹ に「4」(鉛筆、恐らく指使い)。	「5」「4」「5」「3」「4」無し。
30-32	ピアノ	第30小節1.5拍目から第31小節1拍目まで「dim.---」。	第30小節頭から第32小節終わりまで「dim.---」。
30-32	ピアノ	第30小節頭から第32小節終わりまで「beruhigend」。	第30小節頭「beruhigend (progressively calmer)」、「---」無し。
34	歌詞	「gehn」の後に「,」無し。	「gehn」の後に「,」。
38	歌	「poco rit.---」無し。	ブラケット無しに「poco rit.---」。
39	ピアノ	小節頭、上段の上に「Ruhiger」。	1.5拍目辺り、上段と下段の間に「ruhiger」。
41/1	歌	クレッシェンド記号	クレッシェンド記号無し。
42/1	ピアノ上段	2音目f ¹ /gis ¹ にアクセント記号。	2音目f ¹ /gis ¹ にブラケット有りアクセント記号。

43/2-44/1	ピアノ	第44小節の頭までディミヌエンド記号。	第43小節の終わりまでディミヌエンド記号。
44	歌	「a tempo (Allegretto)」無し。	ブラケット無しに「a tempo (Allegretto)」。
43/2-44	ピアノ	第43小節の終わりから「a tempo (Allegretto)」。	第44小節の頭から「a tempo (Allegretto)」。
57	歌詞	「da, lässt das」	「da, lässt mir's」(原詩も同様)
58	歌詞	「laufen」の後に「.」無し。	「laufen」の後に「.」。
59	歌	1.5拍目から「poco rit.---」。	1拍目から「poco rit.---」。
63/1	ピアノ上段	hに「h」無し。	hにブラケット無しに「h」。
64/3-65/1	ピアノ	第64小節3拍目から第65小節頭にかけてクレッシェンド記号。	第64小節2拍目から同小節終わりにかけてクレッシェンド記号。
65	ピアノ	小節頭、上段の上に「etwas lebhafter。」	1拍目から、上段と下段の間に「wieder etwas lebhafter」。
65-73, 75, 77	ピアノ上段	前打音からスラー無し。	前打音からブラケット無しにスラー。
69		「Wieder ruhig」	「[Andante]」
69/2-72	ピアノ	「dim.---」無し。	ブラケット無しに「dim.---」。
69-72	ピアノ	第69、70小節にリピート記号が書かれている。そのため第70小節に書かれた「poco riten.---」は、第70小節と第72小節のどちらからの適用を意図したのか判別がつかない。	リピート記号を使用せず、4小節を使っている。第72小節頭に「poco rit.--」。
75/1	ピアノ上段	前打音e ¹ に「h」。	前打音e ¹ に「b」。
81/1	ピアノ上段	青鉛筆でアクセント記号。	
86/1	ピアノ下段	1音目に青鉛筆でアクセント記号。	
86/1	ピアノ下段	スタッカート記号無し。	2音目にブラケット無しにスタッカート記号。
88		ピアノ上段の上に「Langsam」。	歌の上に「Langsam」。
88	歌	小節頭に「 <i>ppp</i> ganz leise」。	1.5拍目に「 <i>ppp</i> ganz leise」。
88	ピアノ	小節頭に「 <i>ppp</i> 」。	第89小節頭に「 <i>ppp</i> 」。
92	歌	第92小節頭から「immer <i>ppp</i> 」。	第91小節頭の2拍目から「immer <i>ppp</i> 」。
93	ピアノ	小節頭に「ritenuto」。	「ritenuto」無し。
94-95	ピアノ	第94小節の終わりからデクレッシェンド記号。	第95小節の頭からデクレッシェンド記号。
96/1	ピアノ上段	a ¹ に「h」無し。	a ¹ にブラケット無しに「h」。
97/2	ピアノ下段	鉛筆でcis。	
97/2-3	歌	2拍目と3拍目の四分休符の上に跨ってフェルマータ記号。	3拍目の四分休符の上にフェルマータ記号。

〈ベアトリーチェの予感〉

小節/拍	声部	浄書譜④	出版譜
		タイトル「Ahnung Beatricens」。タイトル下に「(Werfel)」。	タイトル「2/Ahnung Beatricens」。詩人「Franz Werfel」。
1/1	歌	拍子の右側に「in ♪」。	「in ♪」無し。
2/2	ピアノ	「dim.」	「dim.」の後、6拍目までブラケット無しに「---」。
2/8	歌	第2小節の終わりに「p」。	第3小節の旋律頭に「p」。
5/8-6/1	ピアノ上段	スラー無し。	第5小節8拍目c ³ から第6小節1音目h ² へブラケット無しにスラー。
7/1	歌	小節線の前からデクレッシェンド記号。	1拍目からデクレッシェンド記号。
8/1	ピアノ	鉛筆で「pp zart」。	「pp」
8/6	歌	6拍目に「pp」。	7拍目に「pp」。
8-9	歌	鉛筆でスラー。2つ目のスラーは第8小節8拍目から。	2つ目のスラーは第9小節1拍目から。
9/7	ピアノ	7.5拍目からクレッシェンド記号。	7拍目からクレッシェンド記号。
10	歌	「mit großem[?] Ausdruck」	「mit großem[?]Ausdruck」無し。
17/5	歌	「zart」	「zart」無し。
18/5-6	ピアノ上段	5拍目fis ³ から6拍目にスラー。	4拍目c ³ から7拍目にスラー。
18/8-19/1	歌	第18小節と第19小節の間には、網掛けで消された5.5小節がある。その始めの3拍目までは、第19小節と同じである。歌の第18小節5拍目から始まるスラーは、網掛け部分の第1小節3拍目fis ² まで伸びている。従って、第19小節にはスラーが書かれていないが、第18小節5拍目から始まるスラーが第19小節3拍目fis ² まで伸びていると考えるのが妥当だろう。	歌の第18小節5拍目から第18小節の終わりまでスラー。
23/1-3	ピアノ上段 上声部	1拍目1音目as ² から3拍目des ² にスラー。	1拍目2音目b ¹ から3拍目des ² にスラー。
27/5	ピアノ下段	「Pd 」(ペダル記号)	「Pd 」無し。
27/8	歌	鉛筆で「sehr ruhig」。	「sehr ruhig」無し。
27/8-29/1	歌	第27小節8拍目a ¹ から第28小節3拍目dis ² を越えるように、第28小節3拍目dis ² から第29小節1拍目dis ² に鉛筆でスラー。	第27小節8拍目a ¹ から第28小節3拍目dis ² に、第28小節4拍目a ¹ から第29小節1拍目dis ² にスラー。

3. 初演に関する情報

作品22のうち、4曲は1934年4月にプラハにて初演され（曲目は不明）、全曲初演は1935年2月13日にウィーン楽友協会のホールにて行われた（Beaumont 2000, 442-443; Moskovitz 2010, 278）。後者はソプラノ歌手ユーリア・ネッシーJulia Nussy（1889-1981）のリーダーアーベントにおいてで、ツェムリンスキー本人がピアノを務めた。コンサートは4部からなり、第3部でツェムリンスキーの作品が演奏された。楽友協会のアーカイブから手に入れたプログラムには、表5のように記載されている。

表5 ユーリア・ネッシーのリーダーアーベントのプログラムから第3部抜粋

3. Alexander Zemlinsky

aus op. 22

2 Abendlieder

Auf braunen Sammetschuhen

Abendkelch voll Sonnenlicht

Feiger Gedanken bängliches Schwanken

Elfenlied

Volkslied

Das bucklichte Männlein

作品22として〈民謡〉までの5曲+1曲というような書き方であるが、6曲目に演奏されたのは〈私の魂の海の上を〉ではなく、〈背中がった小人〉であった。このコンサートにおいてのみ終曲を変更したかったのであれば、浄書譜を破るまでの必要があったとは考え難い。コンサートの後も〈私の魂の海の上を〉は浄書譜②とは別に保管されていたので、Alexander von Zemlinsky Collectionでは別物として収蔵されたのであろう。

4. まとめと今後の展望

出版譜において、作品22は同時期に作曲された2曲とともに収録されているが、それは作曲家本人の意思によるものではない可能性がある。また自筆の浄書譜は、ツェムリンスキー本人により終曲が当初の〈私の魂の海の上を〉から〈背中がった小人〉に置き換えられて収蔵されていた。全曲初演においても、6曲目に演奏されたのは〈背中がった小人〉であった。

作品22の研究は出版以降に行われてきたためか、どれも〈私の魂の海の上を〉を終曲として分析している (Beaumont 2000, 442-445; Gorrell 2002, 215-218; Moskovitz 2010, 273-275; Schmierer 2011, 529-540)。しかし以上の事実を踏まえると、〈背中がった小人〉を終曲として分析する必要があると考えられる。今後はツェムリンスキーがどちらの曲を終曲として意図していたのか、それともどちらも認めていたのかを探るべく、作曲動機について考察を進めるとともに、両パターンにおける楽曲間の音楽的・テキスト的連関からツィクルス性を検討したい。また〈ベアトリーチェの予感〉は、作品22の7曲とともに収めるのが適切であるのかの考察も行いたい。

また、作品22、27の出版はルイーゼの働きによるものと推測できた。創作時期全般に亘って歌曲を作曲したツェムリンスキーの、最後の2つの歌曲集を世に出した功績は大きい。しかし出版譜と自筆譜には多数の相違点があったため、収録曲と収録順も検討した上で、自筆譜を基に新たな校訂譜を作成したい。

註

- 1 This collection includes nearly all of the musical manuscripts which Alexander Zemlinsky (1871-1942) brought with him when he emigrated to the United States in 1938, as well as annotated poems and

libretto drafts, printed editions of his own and other composers' works, and a small amount of correspondence and personal papers.

- 2 ブラケット内は、背表紙の問い合わせ先に「Universal Edition/Kalmus」が無い楽譜に記載されている（筆者が2019年に購入したものであることから、比較的新しいものと思われる）。表紙以外に、中身の違いはない。

引用・参考文献

- 齋藤由香利 2021 『A. ツェムリンスキー《12の歌曲》作品27 再考——曲集の持つ可能性と演奏に向けて——』国立音楽大学博士論文（甲第12号）2022年4月公開予定
- 長木誠司 2019 「オペラ～愛の壊れるとき9《こびと、またはスペイン王女の誕生日》」音楽之友社『レコード芸術』6：91-94
- 著者不明 1992 「Alexander von Zemlinsky Collection」(『Library of Congress』ウェブサイト内) <http://hdl.loc.gov/loc.music/eadmus.mu2005.wp.0043> (2021年12月22日最終閲覧)
- Beaumont, Antony. 2000. *Zemlinsky*. New York: Cornell University Press.
- . 2007. “Zemlinsky Editions 1993-2007.” *Zemlinsky Studies*. Edited by Michael Frith, London: Middlesex University Press, 57-76.
- Beardslee, Bethany. 2017. *I Sang the Unsingable: My Life in Twentieth-Century Music*. New York: University of Rochester Press.
- Bernheimer, M., & Jensen-Moulton, S. “Beardslee, Bethany.” *Grove Music Online*. <https://doi.org/10.1093/gmo/9781561592630.article.A2234296> (accessed December 22, 2021).
- Gorrell, Lorraine. 2002. *Discordant Melody: Alexander Zemlinsky, His songs, and the Second Viennese School*. London: Greenwood Press.
- Moskovitz, Marc D. 2010. *Alexander Zemlinsky: A Lyric Symphony*. Woodbridge: The Boydell Press.
- Oncley, Lawrence. 1977. “The Works of Alexander Zemlinsky: A Chronological List.” *Notes* 34, no. 2: 291-302.
- Schmierer, Elisabeth. 2011. “Jenseits von Tradition und Avantgarde: Text und Musik in Zemlinskys späten Liedern.” *Wort und Ton*. Edited by Günter Schnitzler, Achim Aurnhammer, Freiburg: Rombach, 529-545.
- Steinberg, M., & Gleason, S. “Monod, Jacques-Louis.” *Grove Music Online*. <https://doi.org/10.1093/gmo/9781561592630.article.18975> (accessed December 22, 2021).

新聞（すべてNew York Times）

1973年5月23日 “Music: Zemlinsky Songs”

1976年5月2日 “Music: Composer Guild Performance”

参照楽譜（出版譜）

Zemlinsky, Alexander. 1977. *Six Songs Op. 22 and Two Songs (without opus number)*. New York: Mobart Music Publications.

Zemlinsky, Alexander. 1978. *Twelve Songs Op. 27*. New York: Mobart Music Publications.

参照楽譜（自筆譜）

LC 23/4 Auf dem Meere meiner Seele

LC 23/6 Six Songs, Op. 22

LC 23/7 Six Songs, Op. 22

LC 23/8 Ahnung Beatricens

LC 23/9 Fahre wohl, Ahnung Beatricens

LC 25/2 Twelve Songs, Op. 27

LC 25/3 Twelve Songs, Op. 27

以上の自筆譜の著作権についてLCに問い合わせたところ、Zemlinsky Estateはヨーロッパにおける [日本においても] 著作権保護は失効したと考えているとの回答を得た。